

まちのニュース カメラアイ ～地域のお話をお届けします～

「フウミヤク -循環- 石彫展」

彫刻家長澤裕子氏による作品展が図書館で行われました。

作品は「風、土、雲、水の流れ、地吹雪、聞こえてくる音、時の流れ、瞬間のきらめき、先祖から受け継がれるもの」を表した個展の題でもある「フウミヤク -循環-」を筆頭に何かの間にながれる抽象物を形にしたものを展示しました。

長澤さんは三浦文学をモチーフとした「一粒の麦」や「道ありき」に関する石彫作品も製作されており、「塩狩峠」（三浦文学）の和寒町とは“緑”があるようです。



12/13
(木)



新就業者の集い

公民館で、新たに和寒で就職した若者を中心に集いが行われました。講師は昨年、青年活動による社会貢献が認められ内閣総理大臣賞を受賞したEzorock 代表理事 草野 竹史 氏を招いて、これからの若者が行うまち作りについてセミナーを行いました。

ロックフェス会場でゴミ分別の活動や、被災地支援活動などを通して学んできたことを参加者たちは真剣に受け止め、講師や他の参加者たちと交流する中で、自分たちの現状等を共有しました。

保育所にサンタクロース

近藤組、コンドー興産、H&Mのグループ3社が、保育所利用者とこども館の小学生にクリスマスケーキをプレゼントしました。グループ共同の地域貢献活動で、サンタクロースやトナカイの姿をした社員が登場し、こどもたちを楽しませていました。



12/14
(金)

12/16
(日)



「まが玉づくり」ワークショップ

町内在住の彫刻家 長澤 裕子 氏を講師に招き石を削ってつくる「まが玉」ワークショップを図書館で行いました。

素材の柔らかい石を彫刻刀で削り形を整え、紙やすりで磨くことで光沢のある「まが玉」を作りあげていました。

子どもも大人も夢中に黙々と作品作りに打ち込んだあっという間の2時間でした。

12/18
(火)



北海道日本ハムファイターズ球団職員 和寒町訪問

2019年の1年間、和寒町の応援大使を担うこととなった斎藤佑樹選手、杉谷拳士選手の等身大パネルや額に入ったサイン入りユニフォームなどの贈呈が北海道日本ハムファイターズ球団よりありました。

等身大パネルやサイン入りユニフォームなどは、役場庁舎1階正面に展示しておりますので、ご覧ください。

安心・安全を願って

歳末における防犯意識向上のため、地域安全活動が和寒町生活安全推進会議、防犯協会のほか交通安全協会や交通安全指導員など多くの団体が協力して行われました。

この日は、町内のコンビニや金融機関などの事業所を訪問し、啓発グッズを配布したほか、市街地の街頭においても広報車による広報や啓発物資の配布を行い、防犯を呼びかけました。

12/18
(火)



12/28
(金)



五穀豊穡を祈願して

北ひびき農業協同組合 西本護代表理事組合長から、平成31年の出来秋を祈願して鏡もちを寄贈していただきました。

鏡もちは上から赤・白・緑の三段になっており、赤は「太陽」、白は「人」、緑は「大地」を表しています。

いただいた鏡もちは、役場正面玄関で12月28日から1月10日まで飾りました。

110番 通報訓練

交通安全少年隊7名が参加し、1月10日の「110番の日」にちなんで、110番通報訓練が町民センターで行われました。

和寒駐在所の佐藤所長と岡本巡査長の指導で、不審者を発見した時や交通事故に遭遇した時などの通報訓練や、足跡や指紋の鑑識体験を行いました。

佐藤所長は「現場を目撃して通報する時はあわてず、落ち着いて110番通報してください。」と参加した隊員に指導していました。



1/13
(日)